

県 広 報

# とやま

特集 / 200X年 県民が燃えるプログラム提案募集  
200X年賞決定!

TOYAMA PREFECTURAL REPORT

5

1996 No.328

# INTERVIEW

ひとアズとやま



## 眠れぬ夜の 摩訶不思議な物語

漫画家 **今市子** (本名：田子由紀子) さん

「小学生の頃から、四コマ漫画を描いていたんですよ。」と、水見市出身で東京在住の漫画家、今市子さん。

高校時代には、オリジナルの漫画を描き始めたという今市さんが、東京の大学に進んでから入部したのはもちろん漫画研究会。「在学中に、大学の先輩にあたる売れっ子漫画家、森川久美さんのアシスタントを始めました。生活するには十分な給料がもらえたので、卒業後もしばらく続けていたんです。」そんな今市さんのもとに、ついにデビューの話が舞い込みます。「自分自身の作品を描きたいという気持ちはもちろんありましたが、はたしてプロとしてやっていけるかどうか不安でしたね。」

今市さんの初仕事は、少女向けホラー雑誌「ネムキ」への読み切りものの連載。この種のものを書くのは初めてということもあり、当初の読者の反応はペンネームの通り、「いまいち」でした。「なかなかいい反応が得られなくて苦労していたある日、一つの作品が編集担当者の目に止まり、これを連載ものにしてみては、とアドバイスされました。連載を始めてみるとなかなか好評で、昨年十一月に念願の単行本として出版されたんです。」

霊感が強い主人公の若い男性と、人間社会で様々な事件を起こす妖怪たちとの交わりを不思議なタッチで描いたこの作品には、ホラーでありながらもことなくコミカルな雰囲気があります。「一般的な恐ろしい妖怪ではなく、もっと身近で親しみのある妖怪を描きたかったんです。読者から、漫画に登場するキャラクターが可愛い、という手紙をもらうこともあるんですよ。」小さい頃、寝る前に祖母から小泉八雲の怪談のお話をしてもらうのが大好きだったという今市さん。案外、その頃感覚が、今の作風に表れているのかもしれない。

「器用な方ではないので、いつも締切りとの戦いです。忙しい時には、母がわざわざ富山から食事をつくり駆けつけてくれるんですよ。有り難いことですね。」と笑う今市さん。これからも、摩訶不思議でちょっぴりコミカルな「今ワールド」を繰り広げてくれることでしょう。



初の単行本「百鬼夜行抄」▶

### 5

#### CONTENTS

5月号もくじ

- 撮影 / 赤羽仁(訥) 富山県写真家協会会員 表紙
- とやま遊学感 / 富山県中央植物園 表2
- ひとアズとやま / 漫画家 今市子さん 1
- クローズアップ / ①全国地域情報発信事業 ②能越自動車道小矢部砺波JCT 福岡IC間開通 ③「富山発ゆとりすと倶楽部」設立 特集 / 「200X年県民が燃えるプログラム」 200X年賞決定! 4
- PINUP TOYAMA 写真 / 松田 勉 (富山県写真家協会会員) 8
- 詩 / 池田瑛子 (富山現代詩人協会会員) 10
- ふるさとみてある記 (細入町) ①細入村商工会婦人部 ②岩稻温泉「楽今日館」 ③細入村林業研究グループ 12
- エッセイ / 溝口外美子 (富山県食生活改善推進連絡協議会会長) 13
- シリーズ / 彩りとやま緑化祭'96Ⅷ 国民文化祭とやま'96Ⅱ 14
- 県からのお知らせ 16
- 暮らしのアドバイス 14
- とやまの祭事記 / 城端神明宮例祭 (城端町) 表3



▲ 中国の奇観「石林の石」を用いた庭園



▲ 高山植物室では、可憐な花々が楽しめる



## 世界の植物と出会う総合的植物园が誕生 — 富山県中央植物園 —

レポーター: 洗足学園魚津短期大学 室崎友絵さん (表紙の人)



今回、私が訪れたのは、日本海側の総合的植物园として全面オープンした富山県中央植物園です。

さっそく植物園の石黒さんに園内を案内してもらいました。展示室は熱帯果樹室、熱帯雨林植物室、ラン温室、そして高山植物室の四つに分かれています。熱帯の各温室にはバナナやパイナップルなどの果樹や、ソーゼノキ、ゴムノキなどの珍しい木が植栽されていて、まるで南国に来たような錯覚を覚えました。また、ラン温室では、野生種を中心に多様なランを楽しむことができます。最も私の興味を引いたのは、あたたか高山の一角を再現したかのよう高山植物室。ここでは、チングルマやシラネアオイなどの高山植物が可憐な花を咲かせていました。「地中に水道管を通して土の温度を低く保っているんですよ」と石黒さん。

屋外は、日本の代表的な森林や日本海側特有の植物、世界の野生種などを植栽する広大な展示園になっています。植物について学べるのももちろん、池やせせらぎに彩られた景観は、訪れる人に憩いと安らぎを与えてくれることでしょう。また、中国雲南省の「石林の石」を用いた庭園には圧倒されてしまいました。

将来的には、屋内外あわせて五千種もの植物が展示されるという富山県中央植物園。緑化フェアのテーマ会場となる六月十四日までは、いろんな企画が催されるそうです。皆さんもぜひ訪れて、世界の植物に親しんでみませんか。



▲ 珍しい野生種を中心としたラン温室

場所	婦負郡婦中町上齋田42
開園時間	午前9時から午後5時
休園日	毎週木曜日 国民の祝日の翌日 年末年始 (8月6月14日までは無休)
入園料	大人600円 小人300円
電話	☎ 0764 (66) 4187



巨大な温室の外観 ▶

# ●4月6日 充実した余暇生活を応援します

「富山発ゆとりすと倶楽部」設立



▲琴によるミニコンサート



県では平成五年度から、ゆとりを持って人生を楽しんでいる個人や団体を「ゆとり名人」および「余暇リーダー」に認定してきました。これらの人々を中心として構成される富山発ゆとりすと倶楽部は、今後、地域イベントやセミナーの開催等を通じて、県民の余暇活動の充実を支援していきます。



▲会長に就任した今家喜敬さん

県民一人ひとりが、余暇を有意義に活用し、潤いと安らぎと楽しみのある生活ができるよう支援することを目的として、四月六日、「富山発ゆとりすと倶楽部」が設立され、その設立総会が同日、富山県民小劇場・オルビスで行われました。

まず、会則や予算案などが承認された後、役員の選出が行われ、会長に選ばれた滑川市の今家喜敬さんは、就任の席上「設立日が本日、八年四月六日ということで、これから余暇充実に向けて『走ろう』と呼びかけたい」とあいさつ。引き続き、設立を記念して「ゆとり発見セミナー」が開かれ、余暇リーダーの中山妙子さんが琴演奏を披露したほか、財余暇開発センターの宮野素行理事長と米村恵子主任研究員が、「余暇をつくる、楽しむ、活かす」をテーマに記念講演を行い、詰めかけた聴衆は熱心に耳を傾けていました。

# ●3月20日 新聞広告で富山をPR

全国地域情報発信事業「みんなくっつけば、日本。」



▲「志の輔ラジオ 富山がいい」生放送中のスタジオにて

県が三月二十日付けで全国の新聞二十一紙に掲載した新聞広告が大きな反響を呼びました。これは、平成六年度から四十四道府県とともに実施している全国地域情報発信事業で、富山県としての掲載は二度目となります。今回は、新聞紙面上に都道府県をばらばらに配し、その形から富山県を見つけ出すというクイズ形式の広告で、キャッチコピーは「みんなくっつけば、日本」。クイズを通じて富山県の位置や形を知ってもらうとともに、緑化フェアや国民文化祭、二〇〇〇年国体の各イベントや観光スポットをPRするのが狙いです。簡単には回答が引き出せないクイズにもかかわらず、全国から寄せられた回答は約六万四千通。「地図帳を開いて、あらためて富山県を確認した」、「実際に新聞を切り取って、パズルを楽しんだ」などのコメントも数多く寄せられました。また同日、文化放送で「志の輔ラジオ 富山がいい」と題した特別番組が首都圏を中心に生放送され、立川志の輔さんが二時間にわたり、軽妙なトークで富山の魅力を紹介しました。県では今後も、各種のメディアを利用したPR活動を通じ、富山のイメージアップを図ることにしています。

# ●3月26日 北陸と三大都市



▲式典に花を添えた地元の獅子舞



の交流を促進し、広域観光ルートを形成するためにも、残るルートの早期完成に向け全力をあげたい」と決意を述べました。能越自動車道は、小矢部砺波JCTから石川県輪島市に至る約百キロの高規格幹線道路で、部分開通は今回が初めて。また、同自動車道を管理する県道路公社と、北陸および東海北陸自動車道を管理する日本道路公団が互いに料金を代行徴収することで、連結部に料金所を設けない全国で初めての「ノーバリエード方式」を採用しています。

今回の開通を契機に、能越自動車道が県内の観光や経済、文化の発展に大きく寄与するものと期待されます。

# 圏をつなぐ新時代の道

能越自動車道 小矢部砺波JCT-福岡IC間開通

能越自動車道の小矢部砺波JCT（ジャンクション）-福岡IC（インターチェンジ）間六・九キロが三月二十八日開通し、その開通式が同日、福岡ICで関係者約八百人が出席して行われました。式では、中沖知事、県選出国会議員らがテープカットをした後、大家小矢部市長、石沢福岡町長らがくす玉を割って開通を祝いました。続いて出席者たちは車に分乗し、小矢部東ICまでパレード。クロスランド小矢部での祝賀会で中沖知事は「北陸と三大都市圏との

## 能越自動車道



## （福岡IC～小矢部砺波JCT）開通



富山県道路公社

## 県政の動き

平成8年3月11日～4月10日

- 3月16日 高山本線新型気動車出発式
- 3月20日 200X年 県民が燃えるプログラム提案募集最終審査会及び顕彰式  
ふるさとの眺め写真展（～25日）
- 3月22日 引船「日本海」竣工式
- 3月28日 ウェルフェアテクノハウス竣工式  
能越自動車道 小矢部砺波JCT-福岡IC間開通式
- 3月31日 TOYAMA NOW in 原宿'96（～4月3日）
- 4月1日 辞令交付式
- 4月3日 消防防災ヘリコプター就航式
- 4月5日 黒部職業能力開発センター竣工式
- 4月6日 いまいき富山観光キャンペーン  
オープニングフェスティバル  
富山発ゆとりすと倶楽部設立総会



▲PR効果絶大と反響が高かった新聞広告

# 北アルプス経済・交流圏 ～3000mの障壁を越えて～

提案者 奥水一紀さん (黒部市)



## 講評

立山・黒部を含む北アルプスに関する数多い提案の中で、北アルプスを取り巻く四県を「北アルプス交流圏」として交流・発展を目指している点で独自の視点を持っています。時間的ハンディ克服のための「アルプストーンネル」、交流の場としての「宇奈月温泉下湯」、交流と発信の実現手段としての「あるぶすFM」など、目に見える形での提案が高い評価を得ました。

三〇〇〇mの障壁「北アルプス」を越え、四つの文化圏(富山県奥東地区、岐阜県飛騨地方、長野県松本地方、新潟県西頸城地方)が北アルプスを中心に交流し、新しい経済・文化の発進基地となる。  
○広域放送局「あるぶすFM」を開局。新しい文化、アイデンティティを生み出し、経済文化の発進基地とする。  
○北アルプス(小谷村・朝日町間)を貫通する「アルプストーンネル」と富山・新宿間を四時間で直結する「特急あずさ・富山行き」を実現する。  
○山岳リゾート(白馬、大町)とマリニリゾート(富山県宮崎)の連携、宇奈月温泉を元湯と下湯に二極化し、下湯を北陸最大のリゾート地とする。  
○地理的閉鎖性を捨て、相互の文化を刺激しあう交流により、旧来の県民性を捨て、200X年には素晴らしい富山県になる。



## 講評

移動する人工の島にレインボーブリッジ、深海潜水艦、水中エレベータなどの構想は、実現可能性の点では一見あり得ないように思えます。しかし、マンガと家族の楽しい会話という構成によって200X年に向けた熱いメッセージとして送っており、感動させられた作品です。  
これが島なのか、動くテーマパークになるのか、この提案がそのままでも、その延長線上で実現される日もそう遠くないかもしれないと、ふと思ってしまいました。

## 未来ストーリー

提案者

中尾吉成さん 岡崎忍さん 中村秀一さん 岡田一郎さん  
広瀬貞樹さん (以上富山市) 吉野仁さん (魚津市)

# 「浮きウキ島」

富山風太郎家の家族が語り合う未来の姿を、絵やイラストを使い、絵本タッチでストーリー展開した提案。  
○楽しい施設やワクワク、ドキドキの仕掛けがあって、船のように移動できる巨大な人工の島が富山湾に浮かぶ。  
○島の水辺には、釣りやサーフィンなどさまざまな遊びのできるビーチ、富山の郷土料理や世界の料理が楽しめるレストランや遊園地がある。  
○エネルギー源は、波力、風力、太陽光。水は海水を浄化して利用し、排水は無害なものにして海に戻す。ゴミ等はリサイクルで再利用。つまり、島全体が巨大なリサイクルシステムになっている。  
○島内は電気自動車で移動。すべてが自然にやさしい。子どもからお年寄りまで、みんなが笑顔になれるドリームランド。夢はどんどん膨らんでいく。

# 200X年賞 決定!



「二十一世紀になっても、やっぱり住んでいたい、帰りたい、そしてもっと楽しい富山県でありたい」。そんな熱い思いのもと、昨年「200X年 県民が燃えるプログラム事業」がスタートしました。その第一歩として行われたのが、県民の抱く夢や希望を具体的な案として寄せてもらおう県民からの提案募集。八月から十月までの三か月間で、富山をこよなく愛する千二百四十三人の方々から、二千三百七十の提案が集まりました。そして、「200X年 県民が燃えるプログラム委員会」による審査の結果、200X年賞五点、夢追い賞十点、審査員特別賞一点が選定されました。  
ここでは、寄せられた提案の傾向や審査の経過を交えながら、200X年賞に選定された五つの提案を紹介します。

## 個性あふれる提案 募集結果の概要

応募提案には、図画や作文による小学校のクラス単位での応募、楽しい絵やイラストを添えて夢や未来を視覚的に訴えるもの、電子メールでの提案など、個性あふれるものが多数ありました。

提案の内容では、①イベントやテーマパークなど、富山を楽しくするための時空間の創出、②豊かな自然環境との共生、③若者に魅力ある都市機能の集積、④高齢者、障害者にやさしい社会の実現、などが数多く見られました。

## 白熱する議論 審査の経過

審査の経過

プログラム委員会はまず「人づくり、郷土づくり、産業づくり」の「魅力・イメージアップ」の四つの分科会に分かれ、各々に提案を振り分けて審査。各分科会では、提案の斬新さ、富山県ならではの着眼点、内容の具体性や県民の参加性、また論理性や説得力などの観点から審査を進め、提案を絞り込んでいきました。

続いて、各分科会代表者による代表者会議、プログラム委員会による合同審査会を実施。合同審査会では、「地道な取り組みの継続が重要」、「一見実現しそうなことでも県民が力をあわせれば楽しい富山県になる」といった議論の末、受賞作が決定しました。以下、プログラム委員たちを「なるほど」と唸らせ、200X年賞に輝いた提案の概要を紹介します。

講評

19世紀後半のオーストラリアの建築家・都市計画家のカミロ・ジッテは、当時技術と実用のみで走りがちであった都市計画の手法を是正し、再び美しい豊かな都市空間を創りだすことを提唱しました。

この提案は、一時逃れの安易な機能のみを追求するだけでなく、再びジッテの提唱した人間のための道の復権を強く求めています。これからの新しい時代の社会資本の整備方向を、いろいろな例を挙げながら、力まず、平易に語りかける提案には、心を揺さぶるものがありました。



モータリゼーションの発達に伴い、安全で歩きやすい道が少なくなってきたが、今の道が本当に人間にとっての道といえるだろうか。車優先から人間優先へ、道づくりはもっと大胆に方向を変え、富山県独自の構造上の基準を全国に先駆けてつくってほしいと思う。例えば・・・

- 余裕があつて起伏がなく「歩きやすい道」
- 庭園を歩いているような「楽しい道・心休まる道」
- 昆虫や魚を捕まえる池や水路があるような「遊ぶ道」
- 旧跡や偉人を歩きながら偲ぶことができる「ふるさとを知る道、偉人の道」・・・

歩くということは人間の基本であり、200X年に向けたものとして人々やさしい道を残していきたい。

# 人にやさしい道 (路、広場)づくりを

提案者 山本三樹夫さん (宇奈月町)

# とやまイメージアップ大作戦

提案者 橋本 隆さん (大島町)  
宮崎一郎さん (氷見市)  
山田利明さん (高岡市)



講評

この提案は、内容の具体性、ストーリー性、さらにそれらを含めた全体構成という点で非常によくまとまっています。スポーツの殿堂とする際の種目選定、テーマパークの親しみやすいネーミング、公共交通網としてのモノレール構想など、どれもが評価に値します。この提案のエッセンスをくみ取って加工・味付けをしていけば、200X年の富山県にそれなりのインパクトを与えるプログラムになりそうです。

富山県のイメージについては、特に若い女性から、クラリティと刺激がないといわれている。また、全国の都道府県のうちでも知名度が低く、関心も薄い。そこで・・・

- 富山県版小説や脚本等の募集とそれを題材としたTVドラマ化や映画化を行う。また、若者にはローラーブレードやスケートボード、老人にはゲートボールといったスポーツの殿堂としての富山県をPRする。
- ハード施設として、アミューズメントパーク「ドラえもんランド」の建設や新交通システムとしてモノレール建設を行う。

これらが実現すると、200X年の富山県には近隣の若者が集い、また人気沸騰のドラえもんランドが観光に拍車をかけ、全国各地の少年少女はもとよりアジアやヨーロッパのドラえもんファンが訪れ、夢と希望を発信する賑わいのある国際都市「とやま」となるだろう。

# 全国の小学生対象 県内各地ホームステイ制度の運営推進

提案者 服部丞太郎さん (小杉町)

講評

この提案は、全国の小学生たちに、富山の小学生たちの家庭で何日かを過ごしてもらうという、とてもシンプルなものですが、これからの時代に求められるソフトの視点から、「人づくり」イコール「ソフトづくり」なのだと思える提案です。実際に富山を体験した小学生たちこそ、真に富山の良さを生の声で伝えるメッセンジャーとなることでしょう。ヒューマンネットワークの素敵な拡がりを想像させる素晴らしい提案です。

次世代を担う小学生を対象に、「富山から全国の小学生ファミリーに発信する集い」を実施する。

- 毎年、春、夏、冬休みの期間に、富山県内各地の一般家庭がホームステイ先となって、全国から小学生の希望者を受け入れ、豊かな自然・風土・人情などを体験してもらう。
- 旅費以外の費用は無料とし、ホームステイ先がボランティアの一貫として負担する。また、県や市町村などからホームステイのボランティア家庭に補助する制度をつくる。
- 各種スポーツ教室をはじめ、動植物等の自然観察会など県内各地の特色を活かした課外実習などを企画し、県内のエキスパートにボランティアとして参加してもらう。

○このようなホームステイ制度に県民の多くが参加することで、時代を担う子どもたちとの交流が深まり、200X年には県民の「心の財産」が蓄積される。



「200X年 県民が燃えるプログラム提案募集」の最終審査会は、三月二十日、タワニーで行われました。プログラム委員会座長の米田政明さんのあいさつの後、200X年賞候補十五点を大型スクリーンを用いて解説。続いて、受賞提案に対する賞品が紹介されました。リンゴ・梨・桃の果樹園(十年間手入れ不要)のオーナー権や、らいちようパレオスキー場リフト乗車券十年分、県内一円ヘリコプター遊覧などのユニークな賞品が愉快なパフォーマンスで紹介されると、会場は和やかな雰囲気になりました。

最終審査をこなして、いよいよ受賞提案の発表。受賞者は次々にステージに上り、「200X年賞」受賞者には中沖知事から、「夢追い賞」および「審査員特別賞」受賞者には米田座長から、各々記念プレートが送られました。

最後に、北井喬子さん(10)が、夢追い賞を受賞した自らの提案「みんなが楽しく遊べる場所」を朗読。「体の不自由な人も皆が気軽に遊べる公園などができれば、足の不自由な自分のおじいちゃんも、笑顔がこぼれて楽しい会話ができると思います・・・」。朗読が終わると、はからずも会場からは大きな拍手が沸き起こりました。



▲「あったらいいな夢の国」で審査員特別賞受賞の荒川美香さん・千香さん



▲ユーモアにあふれた賞品の紹介



なぜ こんなにも懐かしいのだろう  
たましいの故郷ふるさとに抱かれたように

五月の水かがみに映る

祈りのかたちの家々

茅葺き屋根の丸太を結ぶ  
つよくしなやかな縄

心もふかく結ばれてきたのであろう

雪に埋もれた日々の

想いのたけをあふれさせて

匂い立つ樹々が風と響きあう

いま 一羽の揚羽蝶が

ときめく恋文となつて

ぶなの梢を越え

未来へ

人口：2,172人  
面積：40.24km<sup>2</sup>  
(平成8年3月1日現在)



村田三四司さん



## “今日”も“楽々”

「お客様を暖かくお迎えするために、木の温もりを大切にしています」と支配人の村田三四司さん。温泉の泉質は、ナトリウム・炭酸水素塩・塩化物泉で、皮膚病や火傷、婦人病に効能がある。「神通峡の美しい景色を満喫できるように、男女の風呂を定期的に入れ替えることにしています」。

温泉の他にも、レストラン、約百人は収納可能な大広間、地下には人数に応じて間仕切りができる研修室なども完備されている。

公募によって決まった愛称「楽今日館」。「村の特産品である「らっきょう」を表すとともに「楽」しく「今日」一日を過ごしてもらおうといった意味が込められているんですよ」と村田さん。ぜひ訪れて、心も体も暖まっていたきたい。



## 温泉気分

神通峡岩稲温泉 楽今日館

国道四十一号線沿い細入村岩稲に、四月二十三日、「神通峡岩稲温泉 楽今日館」がオープンした。

ここでは、気泡湯、ジェット湯、サウナのほか露天風呂も楽しめる。館内に入ると、和風の要素を取り入れるために、至るところに木をあしらったことに気づ



▲神通峡が展望できる大浴場

# 3. るさと 2. めてある記

# 細入村

◎細入村の概要  
神通川左岸に位置し、自然の景勝神通峡県定公園を中心とした観光とレクリエーションの地。  
細入村の産業の中心は農林業。特に特産のらっきょうは、県内生産量の20%をしめる。夏のイベント「らっきょう祭り」では、気軽にらっきょう掘などが体験できるとあってたくさん参加者で賑わい、次回のイベントにも期待が高まる。

## 木を守り、育て、有効利用

細入村林業研究グループ



▲平野廣さん

会社を定年になるまでは、林業とは全く関係のない仕事をしていました」と、細入村林業研究グループ会長の平野廣さん。

このグループは、林業技術の向上を通じて林業振興、ひいては村の活性化を図ることを目的に活動している。「林業は、メンバー全員にとって未知の世界だったんですよ」と笑う平野さん。現在は、県の農地林務事務所などの経験者と呼んで、木の育て方や間伐、選木の方法などの実地訓練を受けている。

そして、林業振興の第一歩として昨年からは始めたのが、間伐材を使った木材加工品の製作である。「商品となる木材ではなく、間伐材を用いて製作することで、木材の有効利用を図っています。昨年完成した細入村木材加工センターで置物、灯籠、プランターなどを製作し、隣接する林産物販売センター「林林」で販売している。「置物は、クルミの実の油で何度も磨いて独特の色や艶を出しているんですよ」と、製作品には自信たっぷりの様子。

今後も、木材加工技術にさらに磨きをかけ、商品価値のある物をどんどんつくっていききたい、という平野さん。これらの活動が村の活性化につながることを期待しつつ、林業研究グループの挑戦は続く。



▲木製の灯籠



▲福光町での林業研修にて

## “母さんたちの熱意”が生んだ特産品

細入村商工会婦人部

細入村商工会婦人部で、村の山野に自生するみょうがを何か有効利用できないかと考えた結果生まれたのが「ちらし風みょうが寿司」である。婦人部長の下坂照子さんにお話を伺った。

「昭和六十一年の細入村祭りで、お客さんにみょうがを使った料理を食べ比べてもらった結果、好評を得たのがこのちらし風みょうが寿司なんです。当初は村の祭りの日に限って露店で販売していたが、次第に人気を呼び、昨年には毎週日曜と祭日に地元の林産物加工センター「林林」で製造直売している。

みょうが寿司に携わるメンバーは婦人部の中の約二十人。そのうち一人ずつが当番となり、加工センターで調理する。「誰が作っても同じ味になるように、そしてその味が誰の口にも合うように試行錯誤しましたね」と下坂さん。素材となるみょうがは、七月頃から採れるが、寿司に用いるものは九月頃に自生し始めるもの。九月のものは、シャキシャキ感があるうえ、酢につけると一層鮮やかな赤色になるんですよ。今や、県外から買いに来るお客さんもあるほどの人気だ。

「これからもよりおいしいものを、より多くの方々に味わってもらいたいですね」。下坂さんの言葉からは、地元の人にこだわり続ける母さんたちの熱意が伝わってくる。



▲大人気のみょうが寿司



▲下坂照子さん



▲商工会婦人部のみなさん

▲1つ1つ心をこめて手づくり

# 第13回全国都市緑化とやまフェア 彩りとやま緑化祭'96

全体会期 平成8年4月20日(土)～9月1日(日)  
提 唱 建設省 主 催 富山県・高岡市・砺波市・財都市緑化基金

## ☆テーマ館「花・ひと・くらし彩館」

「花・ひと・くらしのハーモニー」をテーマに、花ある心豊かな暮らしを提案します。

- プロローグ  
皆様をお迎える「光の花園」で、「花・ひと・くらし彩館」のテーマをお伝えします。
- メインスペース「インテリアハーモニー」  
ドライフラワーを用いて、暮らしの中に花を取り入れるアイデアを紹介。また、花の精「フローラ」が立体映像に現れ、花で彩られたキッチンやテラスに皆様をご案内します。
- エピローグ  
富山の7つの「花の路」や「花の歳時記」を皆様にご紹介します。

## ☆花のファンタジーカー

ビデオプロジェクターや立体映像により、花と人とのふれあいを描く物語を皆様にご紹介するサブ展示館です。  
テイクアウトスタイルのグルメカー(4台)やグリーンショップカー(1台)、ユニークなパレードカー(3台)が、皆様をお待ちしています。

今月は、「とやま緑化祭」の開催テーマなどを皆様にお伝えする県出展パビリオンとして各会場を巡る「みつばちキャラバン隊」について、紹介します。



## 展示スケジュール

4つの会場をリレーして展示します。  
 砺波チューリップ公園会場 5/6まで  
 富山県中央植物園会場 5/17～6/2  
 県民公園太閤山ランド会場 6/15～6/30  
 高岡おとぎの森公園会場 7/12～9/1

## 訪問催事

花のファンタジーカーが、サテライト会場や福祉施設などを訪問し、「とやま緑化祭」の内容をお伝えします。  
 サテライト会場 黒部市総合公園 5/11・12  
 氷見市海浜植物園 5/14

## パレード

各会場のオープニングにあわせて、パレードを行います。  
 県民公園太閤山ランド会場 6/15  
 メイン会場前日祭(高岡市街) 7/11

# 第11回国民文化祭とやま'96

平成8年9月28日(土)→10月7日(月)

いのちとくらし とやまマンダラ大絵巻



## 【先取り情報②】

今月は、パレード、開会式、閉会式からなる総合フェスティバルの見どころを紹介します。

- 県ゆかりのゲストが「くすりやさん」に扮し、全国各地の民俗芸能などを紹介。総合司会には渡辺徹さん、「くすりやさん」の娘役には早勢美里さんなどフレッシュな顔ぶれを予定。

## 閉会式 グランドフィナーレ

- 【と き】 10月7日(月)
- 【と ころ】 富山市芸術文化ホール
- 【見どころ】
- 富山の過去・現代・未来を軸として構成。
- 伝承数日本一の獅子舞にスポットをあてた創作舞踊「獅子が来た道」の発表。
- 次期開催県香川県と県内の文化団体による共演等を通じて、新たな文化の創造の予感を香川県に引き継ぐと同時に、全国へそして世界に発信。

※開会式、閉会式は入場無料ですが、整理券が必要です。整理券応募の受付は7月頃の予定です。

## 問合せ

第11回国民文化祭富山県実行委員会事務局  
 〒930 富山市舟橋北町4-19 富山県森林水産会館内  
 ☎総務課 0764-44-2183 事業課 0764-44-2184・2185・2186  
 F A X 0764-44-1566

# しあわせ富山の創造を 食の発想から

富山県食生活改善推進連絡協議会会長 溝口外美子



手づくりの文化を推進員で慈しみ  
 おわりなき世の遺産のために  
 この三十一文字は、町の栄養教室を終了して食生活改善推進員となり、三十年余り休むことなく続けてきた実践活動の中から気付けさせていただいた食の大切さへの私の迷いの思いなのです。

私たち推進員(愛称…ヘルスマイト)は、「私たちの健康は私たちの手で」をスローガンに活動を進めてきました。当協議会の取り組みは、成人病の予防からスタートして、婦人の健康づくりやガン予防、骨粗鬆症に至るまで止まることを知りません。

高齢化や少子化などが社会問題となっている今日こそ、「しあわせに生きる富山の創造は食生活から」の発想で、これらの問題を真剣にとらえ取り組んでいく必要があります。人はこの世に生を受け、先ず母乳から生きるための食事が始まります。この大切な母乳を取り上げただけでも書き尽くせないほどですが、私はここで人間形成において最も大切とされる幼児期の食事に焦点を当ててみます。

一 幼児期の食生活が、その子の一生の健康に大きく影響を与える。

一 一日三十品目の食品を摂取する必要性から見ても、好き嫌いのない子に育てる親としての躰けと努力が大切。

一 食べ物の好き嫌いは、社会に出てからの人の好き嫌いにもつながる。

一 毎日の生活のなかで、子どもたちにも台所で楽しくお手伝いさせたり、家族みんなで食卓を囲んだり、団樂に満ちた食生活習慣を心がける。

これらは誰もが分かっている基本的で当たり前のことですが、今の時代環境では全てを実現するのはなかなか困難です。しかし、このことがいじめ等の問題につながっているのではないのでしょうか。

それに比べて戦中とはいえ、五、六十年前の子どもの生活環境は、牧歌的で実に心豊かでした。小川でどじょうをすくい、蛸貝をとって来ると、おふくろさんが味噌汁にし

てくれるといったように、自然環境の恩恵に満ち満ち、暖かく育まれる暮らしがありました。しかしながら今は、大人が子どもに昔の話を伝える機会があまりないうえ、子どもが道草をして帰る余裕すらありません。

私たちの組織では、保育園児とその親に食に対する知識を深めてもらおうと、去年から新たに「ヘルシー親子料理教室」を開催しています。この他にも、男子が厨房に入る時代になってきた今日では、男性を対象とした栄養教室なども開いています。このような講習会には進んで参加してみましよう。

また、お母さんは常に正しい食への基礎知識を学びつつ、家族の太陽として明るくまめやかに振る舞い、手づくりの食文化を伝承していきましょう。

栄養素はしばしば赤、黄、緑の三色で表現されます。赤は情熱・活力の色、黄は生きる喜びを与えてくれる太陽の色、そして緑は純粋無垢な「みどり」の心。の色と例えることもできます。これら三つを意識しつつ生きてゆきたいものです。



お知らせ

第1回心身の発達相談旬間のお知らせ

富山県総合教育センターでは、心身の発達相談旬間を設け、心や体の発達に心配のあるお子さんについての教育相談を行っています。

相談御希望の方は、気軽に電話でお申し込みください。実施期間 平成8年5月27日(月)～6月7日(金) (土日を除く) 会場 富山県総合教育センター 申込み・問合せ 県総合教育センター教育相談部 富山市高田525 ☎0764-44-6167

創造的中小企業創出支援事業のお知らせ

今、新たな時代の旗手として、創業者や、独自の技術力で新製品や新サービスの開発を行うおとする中小企業が、熱い視線を集めています。

富山県では、こうした企業家精神やチャレンジ精神に富むベンチャー企業を支援するため、これらの企業の株式や社債を一般の投資会社を通じて引き受ける制度を発足させました。 新技術の研究開発やその事業化に取り組んでいる中小企業者の方はご相談ください。 問合せ (財)富山県中小企業振興財団 ☎0764-32-6922 県庁中小企業課 ☎0764-44-3248

愛鳥週間のお知らせ

今年も5月10日(金)から全国一斉の愛鳥週間が始まります。県ではこの期間中、小学生の調査員による第二十六回ツバメの生息数調査を行いますので、県民の皆さんのご協力をお願いします。

また、第五十回愛鳥週を記念して5月12日(日)の午後1時から小杉町文化ホール「ラポール」で「とやま野鳥保護のつどい」を開催。

募集

平成9年 歌会始のお題及び詠進歌について

お題「姿」 詠進歌は未発表の自作で、一人一首に限り、用紙は半紙とし、毛筆で自書して下さい(書式図参照)。病氣等で代筆する場合は、代筆の理由と代筆者の住所氏名を記載した別の紙を添えて下さい。点字でも応募できます。 詠進期間 9月30日まで (当日消印有効) (約24センチメートル) あて先 〒100 東京都千代田区千代田一丁目一宮内庁(封筒に「詠進歌」と書き添えて下さい) 問合せ 県庁秘書課 ☎0764-32-2826

書式図: 郵便番号、住所、氏名、生年月日、職業、職、業

シルバーボランティア募集

県では、友好県省の提携を行っている中国遼寧省への国際協力の一環として、現地で技術指導のできる知識と経験の豊かな中高年齢技術者のボランティアを募集しています。 派遣期間 3か月以内

中小企業環境施設整備資金融資制度について

県では、中小企業の環境対策を促進するため、中小企業環境施設整備資金融資制度を設けています。 環境施設を整備する中小企業の方は、この制度を利用すると低利で融資を受けることができますので、是非ご利用下さい。 融資対象者 県内に工場または事業場を有し、事業を営んでいる中小企業者

融資対象施設

- 公害を防止するために必要な施設
低公害車
フロン等の回収、脱フロン化のための施設
産業廃棄物の処理、資源のリサイクルのための施設
地下水の保全、水の循環的利用のための施設
工場等の周辺の景観整備のための施設

融資限度額

個別 3000万円 共同 5000万円 問合せ・申込み 県庁環境政策課 ☎0764-44-3141

平成8年度 立山博物館「たてはく友の会」会員募集

立山博物館「たてはく友の会」では、博物館の活動を支援する友の会の会員を募集しています。 「友の会会員の特典」 (1)展示館、展望館、まんだら遊苑の無料観覧(年2回) (2)特別企画展および記念特別展の無料観覧(年2回) (3)博物館の図録やポスターの割引 (ただし、賛助会員の場合は代表者のみ) (4)博物館の各種催しの案内 (5)会報や情報交流誌「たてはく」の無料配布

とやま女性総合センター(仮称)愛称募集

「みのり豊かな男女協同社会」の実現をめざす活動拠点として、平成9年春に富山市湊入船町にオープンするとやま女性総合センター(仮称)の愛称を募集します。 応募方法は、がきに次の事項を記入し、お送りください。 (1)愛称(ふりがな) (2)愛称の説明 (3)住所 (4)氏名 (5)年齢 (6)性別 (7)職業 (8)電話番号 表彰 最優秀賞(1点) 5万円 優秀賞(5点) 各1万円 締切り 6月14日(金) 応募・問合せ先 〒930-80 県庁女性青少年課 ☎0764-44-9617

啓発

自動車をお持ちの皆さんへ

自動車税は、4月1日現在、自動車を所有している方に負担していただく税金です。

会費

一般会員 年額3千円 賛助会員 年額2万円 期間 入会の日から当該年度の3月31日まで。 入会手続き 会員募集チラシに付いている払込取扱票(郵便振替)に必要事項を記入の上、申込みください。 立山博物館 友の会事務局 ☎0764-81-2116

県立近代美術館 浜田知明の全容展

県立近代美術館では、「初年兵装歌シリーズ」で知られる銅板画家、浜田知明の全容展を版画、彫刻など、約200点を展示して、開催します。 会期 4月13日(土)～5月19日(日) 休館日 月曜日(但し、4月29日・5月6日を除く) 観覧料 一般 850円(650円) 高校・大学生 600円(450円) 小・中学生 350円(300円) ( )内は20名以上の団体料金 問合せ 県立近代美術館 ☎0764-21-7111

春の薬草に親しむ会

富山県薬用植物指導センターでは、広く県民の皆さんに薬草に親しんでいただくため、次のおり「春の薬草に親しむ会」を開催します。皆さんの参加をお待ちしております。 日時 5月31日(金) 午前9時30分から午後3時30分まで 場所 富山県薬用植物指導センター 内容 午前 講義「身近な薬草・ハーブの使い方」 午後 薬草標本園・シャクヤク園等の見学案内 講義「薬草の育て方」 定員 60名(定員になり次第、締切ります) 参加料 無料 携帯品 筆記用具・昼食 問合せ・申込み 富山県薬用植物指導センター ☎0764-72-0801 (交通機関利用の方は、9時に上市駅前からバスを運行)

平成8年「児童福祉週間」標語

「子どもの眼 子どもの心 見ますか?」 県税事務所からお送りする納税通知書により、5月31日までに、お近くの金融機関または県税事務所の窓口で納めて下さい。 自動車税の領収書には、車検を受ける時に必要な納税証明書が付いています。車検証と一緒に大切に保管しておいて下さい。

●自動車の登録変更の手続きは確実に

あなたの納めた税金が明日の富山県づくりに活かされます。県民の皆さんのご理解とご協力をお願いいたします。

平成8年「児童福祉週間」標語

「子どもの眼 子どもの心 見ますか?」 毎年5月5日(こどもの日)から5月11日までの一週間は、「児童福祉週間」です。今年も第五十回を迎えます。近年、出生率の低下、核家族化や都市化の進展、女性の社会進出の増大、学校週五日制の施行など、子どもを取り巻く環境が大きく変化している中で、次代を担う子どもたちを健全に育成することは、社会全体の重要な課題となっています。 家庭や学校、地域社会、行政が一体となって、よりよい児童環境づくりに取り組んでいきましょう。

みなさんの相談窓口

- 県政について 県民相談室 富山市新総曲輪1-7 (県庁内) ☎(0764)31-4111代 31-3131 (県民相談電話) 高岡地方県民相談室 高岡市赤祖父211 (総合庁舎内) ☎(0766)21-9411代 魚津地方県民相談室 魚津市新宿10-7 (総合庁舎内) ☎(0765)24-5311代 砺波地方県民相談室 砺波市幸町1-7 (総合庁舎内) ☎(0763)33-5151代

- 物価ダイヤル 物価に関する苦情や相談があればお気軽にお電話ください。 ☎(0120)16-7400 (県庁県民生活課内) ●消費生活については 消費生活センター 富山市安住町7-18 安住町第一生命ビル内 (一般相談は) ☎(0764)32-9233 (金融相談は) ☎(0764)32-3252 消費生活センター高岡支所 高岡市本丸町7-1 本丸会館内 ☎(0766)25-2777 ●交通事故については 富山県交通事故相談所東別館1階 ☎(0764)31-4111 内4400 ●相談110番 家庭問題・悪質商法・覚えい剤など、どんな相談にも応じます。 ☎(0764)42-0110 ●シルバー110番 高齢者や家族の心配ごと、悩みごとに富山県高齢者総合相談センター 富山市舟橋南町5-14 社会福祉会館内 ☎(0764)41-4110 ●よい子の育児電話相談 子育てに関して心配や悩みはありませんか。どんなことでもお気軽にお電話ください。 ☎(0764)33-4150 (県庁生涯学習室内)

県からのホットニュース

- テレビ広報 チューリップテレビ 毎週土曜日 AM7:00~7:15 「ふるさとトーク」 富山テレビ 毎週日曜日 AM9:00~9:30 「112万人のひろば-クイズ/フォーカス-イン」 北日本放送 毎週日曜日 AM11:00~11:30 「こんにちわ富山県です」 5/5 広げよう看護の心 5/12 たくましく魅力ある農業 5/19 我がまちふるさと自慢② ~井波町~ 5/26 進む防災対策 ●ラジオ広報 FMとやま「ふれあいホットライン」 県内各地からホットな話題をクリアなサウンドでおとどけます。 毎週月~金曜日 AM9:50~9:55 ●新聞広報 ●北日本、富山、読売、北陸中日、朝日、毎日 毎月第2、最終土曜日 「県からのお知らせ」

平成8年6月街頭献血日程

Table with 3 columns: 日曜日, 献血場所, 時間. Rows include JR富山駅前, JR富山駅前, JR高岡駅前, 富山アピタ前, 富山西武デパート前, 立山町役場前, 入善町役場前, 上市町役場前, JR富山駅前, 富山中央通り.

\*都合により変更する場合がありますので、当日の新聞・テレビの街頭献血案内等でご確認ください。 富山県赤十字血液センターでは、毎土曜日及び第2・第4日曜日も開所し(祝祭日除く)、献血を受け付けています。(受付時間9:00~16:45) 富山市飯野26-1 TEL (0764) 51-5555 ●マリエとやま6階の献血ルームでは、月曜日を除く毎日(マリエ休館日を除く)献血を受け付けています。(受付時間10:00~18:00 成分献血は17:30まで)

# とやまの祭事記

五月



## 甦る江戸の絢爛絵巻

城端神明宮例祭 (城端町)

毎年五月十五日に行われる城端神明宮の春祭りは「城端曳山祭り」として知られ、当日は絢爛豪華な曳山行列が展開される。江戸時代の祭礼形式を今に伝えるこの祭りでは、悪霊を鎮めるという獅子舞や山車の上に剣を立て流し旗をはためかせた剣鉦、大きな傘の上に飾りをつけ、神を迎えるという傘鉦が御輿を先導。続いて、江戸吉原の料亭などを模した庵屋台や、こ神像が安置された豪華な曳山が町を練り回る。庵屋台と曳山と一緒にまわるのは、全国的にも大変珍しいという。

六つの町から一台ずつ出される曳山には、緻密な彫刻や金色の華やかな装飾が施されており、観衆の目を引きつける。高さ約六メートル、重さ七トン近くあり「ギュー、ギュー」と車輪を軋ませながら進む曳山が、西横町や出丸の坂で向きを変える勇壮な姿が見所。庵屋台の中では、若連中が三味線や太鼓、笛を奏で、雅やかな調べが町に流れる。

あたりに夜の帳が降り始める頃、曳山や庵屋台に灯がともると、祭りはいよいよクライマックス。あちこちにつけた提灯のほのかな明かりに照らし出される彫刻の陰影が、昼間とは異なった雰囲気を出し出す。

この祭りは、一六八五年の城端神明宮再建の折に始まった。初めの頃は獅子舞や傘鉦が御輿を先導するものであったが、曳山は一七二四年から練り回されるようになったという。その後、明治末期から大正末期にかけて曳山は豪華さを重ねてきた。雅やかな調べと曳山の軋む音が、門前町の面影が残る越中の小京都城端町の春を彩る。

# 暮らしの

## アドバイス



## 電子レンジQ&A

**Q** 電子レンジで食品が温まるのは、どんな原理なのでしょっか。

**A** 電子レンジでは、食品を過熱するために電磁波が使われています。この電磁波が食品の内部を通過する時に、食品に含まれる水分が発熱するため、火を使わなくても食品が温まるのです。ただし、食品の内部が過熱されるため、卵のように殻に覆われたものや、卵の黄身のように表面に皮膜があるものは、内部が膨張して破裂することがあるので注意しましょう。

**Q** 電子レンジから電磁波が漏れるという話を聞きますが、どんな場合に起こるのですか。

**A** 電子レンジの電磁波は、人体に悪影響を及ぼすといわれていますが、通常の使用では全く問題ありません。また、過熱中に扉を開けてしまった時には、電磁波を止めるスイッチが扉についています。ただし、扉の透き間に物が挟まったまま作動すると、電磁波が漏れるおそれがあります。扉を開けても電磁波が止まらなかったり、古くなって扉がたつきが生じたときには、速やかに修理することが必要です。

**Q** ごはんは、炊飯ジャーで保温すると、電子レンジで温め直すのでは、どちらがおいしいのですか。

**A** もちろん炊飯直後が一番おいしいのですが、朝炊いた分を夜食べるなら、炊飯ジャーで保温保存するより、室温か冷蔵庫で保存しておいたものを、電子レンジで温め直した方がおいしいです。保温して保存すると、においや色などが悪くなりますが、電子レンジで温め直したものは、そういったことが気になりません。

相談は、県消費生活センター、電話0764(32)9233、高岡支所、電話0766(26)2777

## 編集後記

子供の頃、ちょっととしたホラーコミックブームがあった。「うしろの百太郎」や「亡霊学級」といった、つのだじろう氏の一連の作品などは、身の毛がよだつという形容がピッタリで、読んだ日の夜は決まってトイレに行けなかつたものだ。一方、本県出身の今市子さんの作品に出てくるのは、ご本人の狙いどおり「身近な妖怪たち。ただ、いくら身近でも、そんなのが側にウヨウヨしてたら、やっぱり困る。(K)」

今月号から「ふるさととある記」から「とやまの祭事記」へめでたく(?)コンバートされました。「みてある記」の取材では皆様方に快く協力していただき、本当にありがとうございます。今もはつきりとお一人お一人の表情を思い出しています。さて「祭事記」では、華麗な文章でならした前任者Y君に少しでも近づけるようがんばります。(A)

悪夢のような雪まみれの日々が嘘のように暖かい季節になりました。今月号から新しくお仲間に入れていただいたAでございませう。今月初めに取材なるものを経験したわけですが、大きなカメラを首からさげて撮る姿。ん：ちょっぴり滑稽と自分ながら感じてしまいました。

こんなわたくしではございますが、これからも楽しんでいただける内容になるよう努力する所存でございます。(Aop)

今月号で掲載したPIN UP TOYAMAの写真を選定で5名の方にワイド六ツ切(25×18センチ)でプレゼントします。希望される方は、官製ハガキで下記の様式でお申し込みください。平成8年6月24日消印有効です。

富山県広報課 写真プレゼント 5月号係あて	〒930
氏名	年齢
住所	
電話	
本誌を読んだ感想	

# 花と緑のエキスポ

## 県下6会場をリレーして開催中!



21世紀に向けて、花と緑のある豊かな暮らしの創造をめざす花と緑のエキスポ「とやま緑化祭」。花の見頃にあわせて開催する6つの会場が、皆様のご来場をお待ちしています。



**4/20(土)～5/6(月)**  
**砺波チューリップ公園会場**  
 ■'96 となみチューリップフェア  
 ◎砺波市花園町  
 ◎開場 / 8:00～18:00  
 ただし4/20(土)は、9:30～18:00  
 ◎入場料 / 大人 700円、小・中学生 300円



**4/26(金)～6/14(金)**  
**富山県中央植物園会場**  
 ■富山県中央植物園 オープニングフェスティバル  
 ◎婦中町上響田  
 ◎開場 / 9:00～17:00  
 ◎入場料 / 大人 600円、小・中学生 300円

**6/15(土)～7/11(木)**  
**県民公園太閤山ランド会場**  
 ■'96 太閤山あじさい祭り  
 ◎小杉町黒河  
 ◎開場 / 9:00～17:00  
 ◎入場料 / 無料



**8/10(土)～8/31(土)**  
 ■'96 となみカンナフェスティバル  
 ◎砺波市花園町  
 ◎開場 / 9:00～17:00  
 ◎入場料 / 無料



**6/21(金)～6/30(日)**  
**県民公園頼成の森会場**  
 ■'96 頼成の森花しょうぶ祭り  
 ◎砺波市頼成  
 ◎開場 / 9:00～17:00  
 ◎入場料 / 無料



**7/12(金)～9/1(日)**  
**高岡古城公園会場**  
 ◎高岡市古城  
 ◎前売入場券発売中  
 ◎開場 / 9:30～17:30  
 (ただし8月1日(木)～7日(水)および8月14日(水)～18日(日)は9:30～19:00)

**7/12(金)～9/1(日)**  
**高岡おとぎの森公園会場**  
 ◎高岡市佐野・上黒田  
 ◎前売入場券発売中  
 ◎開場 / 9:30～17:30 (ただし8月1日(木)～7日(水)および8月14日(水)～18日(日)は9:30～19:00)

※メイン会場前売入場券好評発売中※

区分	ゴールドパスポート (期間中何回も入場できる券)		普通入場券	
	前売	当日売	前売 グリーンチケット	当日売
大人	2,500円	当日売はありませ	1,200円	1,500円
高校生	1,200円	当日売はありませ	600円	800円
小・中学生	600円	当日売はありませ	300円	400円

●2つのメイン会場(高岡古城公園、高岡おとぎの森公園)の共通券となっています。  
 ●メイン会場前売入場券をご提示いただくと、砺波チューリップ公園会場及び富山県中央植物園会場の入場料(上記)が割引になります。  
 ●メイン会場前売入場券のお求めは、町内会、主な旅行代理店、JR、プレイガイドなどでどうぞ。



# 第13回全国都市緑化とやまフェア

## 彩りとやま緑化祭'96

全体会期 平成8年 4月20(土)日 ▶ 9月1(日)日 135日間

まち・ひと・くらし  
 花ある人を育てる緑